

令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果(岡部中学校)

平均正答率

自校の平均正答率と県の平均正答率との比較

	国語	数学	英語
岡部中	下回った	下回った	下回った
埼玉県	71	52	46
全国	69.8	51.0	45.6

児童生徒質問紙調査の結果と分析

※質問事項は質問紙調査より抜粋したもの

※「している」「どちらかといえばしている」を合わせた値(単位 %)

	質問事項	岡部中	埼玉県	全国
生活習慣	朝食を毎日食べている	87	92	91
	毎日、同じくらいの時刻に寝ている	81	80	78
	毎日、同じくらいの時刻に起きている	92	92	91
	新聞を読んでいる(週に1回程度以上)	6	7	8
学習習慣	家で、自分で計画を立てて勉強をしている	57	58	55
	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる	79	74	69
	昨年度までに受けた授業で、課題解決に向け、自分で考え、自分で取り組んでいた	90	84	79
	学校の授業時間以外に、平日、1日当たり1時間以上勉強をしている(学習塾等で勉強している時間も含む)	40	42	34
教科への関心	国語の勉強は好きだ	68	62	61
	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	92	90	89
	算数の勉強は好きだ	64	57	57
	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	81	75	76
	英語の勉強は好きだ	54	53	52
	将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思う	39	37	37
主体的・対話的な学び	授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた	90	84	79
	授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた	72	70	62
	授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた	83	76	69
	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができた	86	84	80
その他	自分には、よいところがあると思う	78	82	80
	将来の夢や目標をもっている	63	68	66
	人の役に立つ人間になりたいと思う	90	95	95
	今住んでいる地域の行事に参加している	62	36	38

岡部中学校公表

【質問紙分析】

- ・「生活習慣」「学習習慣」に関するほとんどの項目が全国、県の割合をともに上回っているのは、生活面や学習面のきめ細かい指導が生徒一人ひとりに行き届いているからである。「誰一人取り残さない生徒指導・教育相談の推進」を掲げ、全職員が指導に当たっている。また、本校は学級経営に卓越した教師が多く、若手教師の良き手本となっており、全校として良好な学級経営が推進されており、基本的な生活指導や非認知能力等の育成もできているからであると考えられる。
- ・「教科への関心」において国語・数学・英語の全ての項目が全国、県の割合をともに上回っているのは、①国語…ベテラン教員が若手に指導法の継承を行い、教科内でわかる授業の実践を図っている。②数学…現3年生は、昨年度、少人数指導を行っており（毎年中学校2年生が少人数指導を行う）、個に応じたきめ細かい指導が行われた。③英語…導入で、課題文に対して、スタートとゴールが決まったスモールトークを行い、興味関心を引き出す工夫を行っている。
- ・「その他」の項目で「自分には、よいところがあると思う」や「人の役に立つ人間になりたいと思う」の割合が、全国、県の割合に比べて低くなってしまった。自己肯定感や自己有用感が低い結果となっている。学級経営の力量の向上やアセスの実施による即時的な対応を個別にあるいは学級に行う事で、課題を解決していきたい。

全国の平均正答率と比較して大きく上回った問題○と課題のある問題●とその理由

【国語】

○4ー

出題の趣旨は、「歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことができるかどうかをみる」である。授業において、知識及び技能に関する内容は、繰り返し問題に取り組みせ、生徒ができるまで粘り強く指導に取り組んでいた。小テストを実施し定着を図った。

○2四

出題の趣旨は、「文章を読んで理解したことなどを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができるかどうかをみる」授業において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け自分の考えを広げたり深めたりすることを行った。

●3三

出題の趣旨は、「具体と抽象など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる」具体と抽象の関係について理解することに課題がある。

●3ー

出題の意とは、「読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができるかどうかをみる」読み手の立場に立って、語句の用法や叙述の仕方確かめて、文章を整えることに課題がある。

岡部中学校公表

【数学】

○5

出題の趣旨は、「累積度数の意味を理解しているかどうかをみる」情報を分析したり整理する事や累積度数の意味を理解できている。授業で、小テストを行い、基礎基本ができるようになるまで行っているからである。

○8 (2)

出題の趣旨は、「事象を理想化・単純化することで表された直線のグラフを、事象に即して解釈することができるかどうかをみる」授業において、関数の問題を扱う際に、身近な場面や現象を用いること、グラフを読み取る練習を繰り返し行うことによって成果を上げることができた。

○

●1

出題の趣旨は、「自然数の意味を理解しているかどうかをみる」本校生徒は、自然数の意味を理解することができておらず、まず、自然数とは何かを丁寧に指導し、理解を十分にさせる必要がある。

●4

出題の趣旨は、「反比例の意味を理解しているかどうかをみる」反比例の意味を理解しておらず、二つの数量関係を文章から、変化や対応の特徴を考察することができるようになる必要がある。

【英語】

○1

出題の趣旨は、「情報を正確に聞き取ることができるかどうかをみる」授業内で、コミュニケーション活動を頻繁に行い、特に、導入場面でスモールトークと言う本時の課題文を活用し、始まりと終わりを指定し、間の部分を生徒間で自由にトークするというコミュニケーション活動を行っている。このように、主体的に活動する場面を多く設けている。

○7 (2)

出題の趣旨は、「日常的な話題について、短い文章の概要を捉えることができるかどうかをみる」授業において、短文を読み、一文一文を細かく精読していくのではなく、一読して意味が読み取れるような練習を多く行っている。短文を読み、日本語で概要をまとめるような活動、短文を読みその内容を相手に伝えるような活動の成果であると言える。

●5 (1)

出題の趣旨は、「情報を正確に読み取ることができるかどうかをみる」短文とグラフの両方の情報を読み取る練習が必要である。短文を一読して内容を捉える練習の他、グラフや表を活用しながら英文で情報を正確に捉える練習を行う必要がある。

●9 (1) ①

出題の趣旨は、「未来表現 (be going to) の肯定文を正確に書くことができるかどうかをみる」未来表現に関する英作文を書いてコミュニケーション活動を行うことや、単語テスト等繰り返し実施し、基本的な文法事項を習得させる必要がある。

【国語】

- ・ 説明的な文章や文学的な文章を意図的・計画的に取り組む。その際、日頃の読書活動と結び付けられるように指導していく。
- ・ 正しい漢字が書けるように、漢字の小テストの実施や漢字練習の宿題を提示し繰り返し学習し、定着をさせる。
- ・ 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報の関係を読み取れるよう授業の中で、文章の要約や文章構成がどのようになっているか調べることを実施する。

【算数・数学】

- ・ 基礎的・基本的な問題を繰り返し取り組ませ、自然数の意味の理解や数と整数の加減乗除の基本的な計算問題、比例・反比例の意味など、基礎・基本の定着を目指す。宿題を毎回提示しているので、その見届けを丁寧に行っていく。小テストを繰り返し実施し、スモールステップで短期的な目標と、定期テストや実力テストなど中・長期的な目標を持たせ学習に取り組ませる。
- ・ 図形の問題が本調査から課題があると見受けられたので、図形問題への慣れと基礎基本の定着を実現し、「わかる→できる→次のステップへ取り組みたい」という意欲向上のフローを目指していきたい。
- ・ 長い問題文の中から必要な情報を取りだし、処理するという問題形式や見慣れない問題に対して、取り組みにくくなっていることが考えられるので、調査問題を活用した授業そして、調査問題に類する小テストや定期テスト問題を実施することで、問題へ慣れさせ、教師側にとっても必要とされる資質・能力が分かり、生徒の育成を行うことができる。

【英語】

- ・ 読むことに課題が見られるので、授業中に短文や長文に数多く触れさせ、一読して概要がつかめるような練習を行っていく。また、基本的な文法事項においては、小テストを繰り返し実施し、基礎基本の定着を図っていく。
- ・ 文法事項や言語の働きなどを理解して正確に書くことに課題があるので、語彙や文法、言語の働きなどの基礎基本を、小テストで繰り返し実施することで定着を図る。また、習得した語彙や文法事項を活用する場面が必要なので、コミュニケーション活動を積極的に行っていく。
- ・ 英作文を書くことに課題が見られるので、まず、自分の考えを整理して、まとまりのある文章を書く練習を繰り返し行う。ALT と協力しながら、生徒一人一人丁寧に指導していく必要がある。

【その他】

- ・ 質問紙において、教科の関心に関する問は、国語及び数学で、高水準を挙げているので引き続き維持できるよう、教科担当は、今行っている取り組みを継続していく。良好な学級経営に加え、主体的・対話的で深い学びの実践が、学力向上につながるといわれているので、授業改善と学級経営力向上の両輪で、学力向上を図っていきたい。